



トピックス

(1) 「ストレングスエルゴ 8/240」の学会展示会等への出展紹介

①第43回日本理学療法学会にてランチョンセミナーを予定

- ・テーマ：飛躍への挑戦 会期：2007年5月15日(木)～17(土)にてストレングスエルゴ240を展示
会場：福岡国際会議場他 ホームページ：<http://www.jpta43.com/>
- ・ランチョンセミナーの紹介

会期中に弊社協賛にて下記ランチョンセミナーを開催いたします。是非ご聴講ください。

ランチョンセミナーテーマ：「脳卒中片麻痺患者の歩行障害へのアプローチ」～ペダリング訓練の応用～
開催日：5月15日(木) (大会1日目 12:30～13:30 会場：第3会場 福岡国際会議場 3F メインホール)

講演者：慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室 藤原俊之 先生

司 会：富士リハビリテーション専門学校 内田成男 先生



(2) 「ニューロ・アシスト リハビリテーション(Neuro-assist Rehabilitation®)」のご紹介

ストレングスエルゴのアシスト機能の特徴的に表現する名称「ニューロ・アシスト リハビリテーション」が決まりました。今までストレングスエルゴのアシスト状態と負荷運動状態を明確に表現する名称がありませんでしたが、今回関係診療部門の先生方にご相談させて頂き決まったものです。

ストレングスエルゴによる両下肢の運動訓練は、歩行時の筋電パターンに近く、片麻痺などの障害のある運動制御機構(motor program)に対する訓練をアシスト機能により円滑に行える、

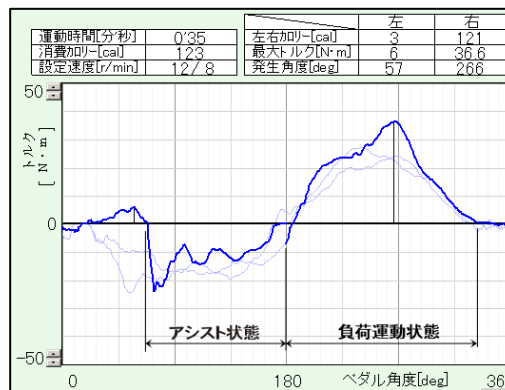
「ニューロ・アシスト リハビリテーション」として、今後も更なる新しいリハビリテーションの可能性に挑戦していきます。

・脳卒中あるいはパーキンソン病などの神経疾患では、筋力低下に加えて、中枢神経の運動制御機構自体が傷害されることが多く、装具などを使用しても介助なしに歩行することは困難な場合が見受けられます。このような患者さんは、両足でのペダリング動作が途絶したり、あるいは開始できないなど、従来の自転車エルゴメータによる円滑な訓練は不可能でした。

・ストレングスエルゴでは、

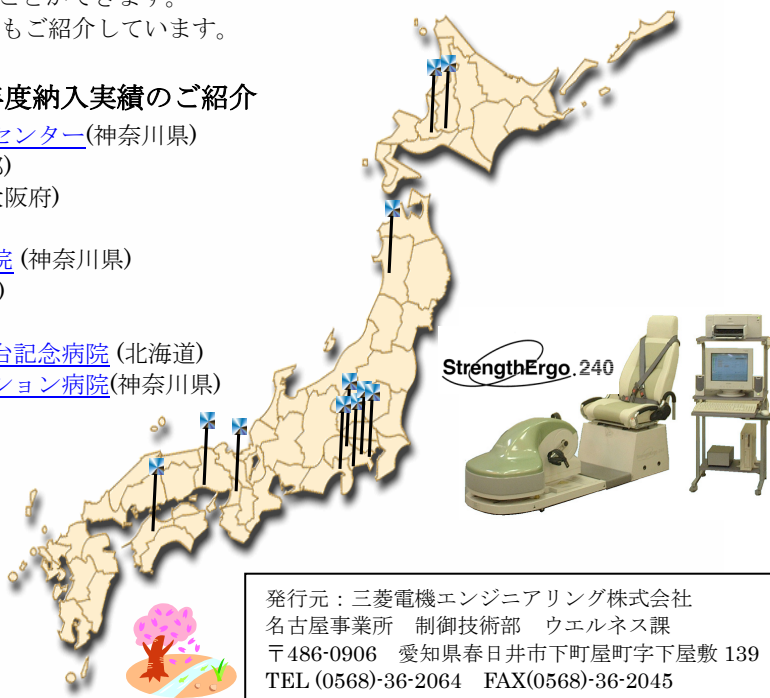
この「ニューロ・アシスト機能」を備えており、力を出せない患側の力の弱いペダル角度のみを補助することができます(アシスト状態)。力を出せるペダル角度では指定した負荷を正確にかける(負荷運動状態)ことができます。以上により、より安全に、より定量的に、より少ない人員で、足の踏み込み力や左右の下肢の協調性の改善など、神経系起因のリハビリテーションを進めることができます。

この内容は2008年度版の新カタログでもご紹介しています。



(3) 「ストレングスエルゴ 240」2007 年度納入実績のご紹介

- 北里大学病院 総合リハビリテーションセンター(神奈川県)
 - 医療法人財団 健育会 竹川病院(東京都)
 - 松下電器健康保険組合 松下記念病院(大阪府)
 - 株式会社ナチュラクオーレ(東京都)
 - 医療法人社団 医誠会 湘陽かしわ台病院(神奈川県)
 - 特定医療法人 北海道循環器病院(北海道)
 - 医療法人和昌会 貞本病院(愛媛県)
 - 特定医療法人社団 カレスサツボロ時計台記念病院(北海道)
 - 医療法人 五星会 新横浜リハビリテーション病院(神奈川県)
 - 兵庫県立姫路循環器病センター(兵庫県)
 - 秋田県立脳血管研究センター(秋田県)
- (敬称略 各病院のホームページにリンク)



あとがき

2008新年度がスタート。今後も引き続き、貴重な情報をお寄せください。

発行元：三菱電機エンジニアリング株式会社
名古屋事業所 制御技術部 ウェルネス課
〒486-0906 愛知県春日井市下町屋町字下屋敷 139
TEL (0568)-36-2064 FAX(0568)-36-2045